

「誰でもが働きやすい職場へ」



母袋 卓郎君

本日のお話は、小さな会社の小さな活動の話です。たいした話ではありませんのでご参考まで！

○現在では、ダイバーシティ、女性活躍、働き方改革、雇用延長、賃上げ！と労働環境の変化が加速し弊社の様な小さな会社では対応に追われています。

今の日本は、老若男女みんな働け！マイナンバーで納税しろ！家族総働き時代です。じゃあ子供の面倒は誰が見るの？子どもが欲しくても育てる環境がない、少子化に拍車をかけています。

時々政府から「御社の女性活躍についての調査」が寄せられます。「御社の労働者の男女の比率は？女性の管理職は何人ですか？」その問いにいつも疑問を感じています。女性活躍＝女性管理職の人数でしょうか？

仕事は楽しい、活躍したい、でも管理職は遠慮します。家庭や子育てを考えると管理職は負担です。意外とそう考える方は多いのではないのでしょうか？

○私の育った環境は、母子家庭でしたので母が大黒柱で鍵っ子でした。そのため女性には優しく、決して怒鳴らない、手を挙げない、重いものを持たせないと育てられました。そのため自ずと女性が働きやすい様にという意識がありました。

○昭和の時代の女性の仕事観
社員の机の上を掃除、灰皿の片付け、お茶入れ、お昼の味噌汁作り、経理、電話番。女性のほとんどが高卒か短大卒で仕事は結婚までの腰掛。花嫁修行、就職して数年で寿退社・・・そんな時代でした。

○二十年ほど前は大きく変化してきました。
女子アナになりたい！という女性が増え、民放は無理でも地元のケーブルテレビなら…と応募が増えました

○現在では、完全週休2日、福利厚生が充実、初任給は？
楽な仕事が学生の企業を選ぶ基準です

○ここで弊社の概要ですが、従業員 女性34名 (57%)
男性26名 (43%) で年休は109日です。初任給41万円!?!
無理むり!!以前は新卒リクルーターが列をなしていたの

が、今は来ません。今いる社員をいかに辞めさせない、活躍してもらうかが課題です。

○「子供を持ったお母さんが働きやすい環境ができれば、誰もが働きやすい職場」では？小さな工夫、まず時短労働9:00~16:00、就業規則は3歳までを小学校卒業までで運用。そして時間単位有給休暇を導入しました。子供の急な発熱・授業参観など有効活用できます。

○その結果、出産後職場復帰した女性社員9名、産休・育休中3名。離職率の低下、新しく仕事を教える必要が無い、復職時にパワーアップして復帰！当事者にも会社にとっていいことだらけだと感じています。

現場の意見としては？

(株)上田ケーブルビジョン

地域事業部 駒沢彩香さん

子育てをしている社員の方々のご意見をお話いただきました。駒沢さんも番組制作をしながら子育て真っ最中とのこと。



地域情報部 (番組制作)

部内 19人 (男性 6人 女性 13人)

子育て中の女性 7人 (他に育休1人 産休1人)

33歳 (3歳)

子育て中の先輩がいる為、急な休みなどがあっても働きやすい雰囲気がある
誰かが代わりに業務にあたるのが当たり前という状況

39歳 (10歳)

小学校卒業までの時短勤務は大変な難しい
助け合いながら仕事を進められる
情報入りやすい 保護者目線の番組づくり

地域情報部 (番組制作)

34歳 (8歳)

急な病気 周りから「ゆっくり休んで お大事に」
小学校にあがるまでが大変だったが乗り越えられた
在宅ワーク、フレックスタイム
働き方が選べるとさらに良い

1人では出来ない仕事
チームワークで作りあげるからこそ
日頃の声かけなど雰囲気づくりが大切

○課題としては、未婚者や子供のいない人にも配慮／福利厚生では大企業にはとても及ばない／年休を109日から月1日増やし121日にできないか？など。

誰でもが働きやすい環境づくり／仕事は楽しく、やりがいを感じられる職場／それぞれの家庭環境を理解し合い、お互いが思い合える人間関係／高齢者の延長雇用も

するが、若者を積極的に採用し年齢比率を平準化へ近づけ、将来へ備えるなどを、目指しております。
小さな会社の小さなお話でした。

例会日誌 2月19日(水) 晴れ 2024～2025 No.27

- 司会 山本 修君
- 斉唱 「我等の生業」
- ゲスト 駒沢彩香さん(株上田ケーブルビジョン地域事業部)
- ラッキー賞 遠藤隆幸君(季節のアレンジ花)
- 友愛賞 浜野浩孝君、北野英明君(山本君よりレアなお菓子)
駒沢彩香さん(上原君よりフルーツ)
柳澤 亨君(小田中君より丹後伊根の御酒)
後藤正直君(遠藤君より御酒)
母袋卓郎君(蓑輪君よりお菓子)

■会長挨拶 渡辺 敏成 会長

2月では初めての、そして最後の会長挨拶です。

2月5日の夜間例会はたくさんの会員にお集まりいただき盛況に終わることができました。また15日のIMも多くの方々に参加いただきました。御礼を申し上げます。

さて、現在国会での予算審議で話題になっているのが、高額療養費の問題です。ご存じの方も多いと思いますが、収入額に応じて、保険診療の医療費の月額払いには上限があるという制度です。例えば年収500万円の方が月に100万円の診療を受けたとします。3割負担ですので自己の払いは30万円ですが、このうち8万円強のみ払えばよく、残りの20万円少々は高額医療制度にて税金で補填されます。この上限額を政府としては少子化対策の財源として引き上げたいとの意図で交渉されています。

この高額医療制度には年間で8000億円が投入されているそうです。限度額引き上げによって収入によっては70%ものアップになるそうですが、平均年収あたりでは月額5000円程度に収まるようです。確かにがんで長期治療中の方や難病を患っている方は、この引き上げについて敏感に反応されています。しかし、医療者からの個人的意見では引き上げもやむなし、あるいは少子化対策でない医療施策に予算を回していただきたいと感じております。

その理由は、近年バイオ医学の発達により効果を示すものが高額な薬品が多数開発され、それらが保険適応になっていることです。アトピー皮膚炎やリウマチなどの疾患も生物学製剤が多用されていますが、月額の医療費が数十万円に達することがしばしばあります。これらに多額の税金が投入されているため、一般の薬価が下がり、製薬メーカーは以前からあるが値段の安い、でもなくてはならない薬の製造をやめてしまっています。抗生剤や咳止め、局所麻酔剤など市場から枯渇している薬品が多数あります。ちなみに認知症の進行を緩やかにする薬が保険認可になりましたが、年間数百万円がかかるという

ことです。これも高額医療制度で数万円レベルの支払いでOKになっております。病気の方の治療を制限することまでは考えておりませんが、限られた予算を有効に使う方法を一考する時期にあるとは感じます。

なお、少子化対策といって毎年数兆円の予算を費やしていますが、いっこうに出生率の改善が見られません。政府の考える少子化対策は全く機能しておらず、これにたいしても抜本的な変革を必要と思います。今必要なのは子育て支援ではなく、若者が結婚できて子供を作れる経済的環境を整備することではないでしょうか？

■幹事報告 工藤 恒 幹事

- ・2月のロータリーレート 1ドル=154円 (←157円)
- ・会長エレクト研修セミナーご案内。 3月22日(土)
- ・米山奨学生終了式のご案内。 3月15日(土)

■次年度地区委員の委嘱状が届く

- 上原 達君： 会員増強委員会委員
- 佐藤友則君： RLI委員会委員長
- 飯島洋一君： ローターアクト支援委員会委員長
- 増田篤子さん： 地区補助金小委員会委員

よろしくお願いたします。



■出席報告

	正会員数	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	52	47	15	—	68.09%
前々回	52	47	17	11	87.23%

ニコニコBOX (敬称略)

石井、上原、遠藤、小田中、工藤、倉島、後藤、小林塩之入、関、滝澤、竹内、玉井、塚田、手塚(た)、橋詰(洋) 浜野、増田、水出、松山、蓑輪、宮澤、母袋(創)、母袋(卓) 柳澤亨、柳澤誠、山寺、山本、渡辺

※増田篤子さん／今日の卓話、楽しみにしています。

※後藤正直君／駒沢さん、楽しみにしています。

※竹内 強君／UCVのお話楽しみです！

※母袋卓郎君／本日は、卓の卓話です。たいした話ではありませんが、よろしくお願いたします。

※渡辺敏成君／誕生日を迎えました(昨日)。嫁は胃腸炎で壊れ、医療機器が午前1台、午後1台壊れ、散々でした。

本日の金額／37,000円 累計／911,010円

[次週のプログラム] 3月12日(水) 高岡西RC訪問、19日(水) 休会、26日(水) すゞき整骨院様